

## 2月のチョコレートの支出

2月14日はバレンタインデーです。

日本では以前から、女性が意中の男性にチョコレートを贈る習慣が定着していますが、最近では「義理チョコ」や「友チョコ」などが流行し、性別や年齢を問わず、チョコレートを贈る機会が増えてきました。今回は家計調査（二人以上の世帯）の結果をもとに、2月のチョコレートの支出について詳しく見てみましょう。

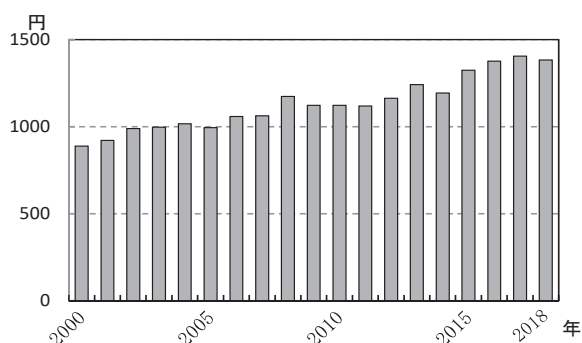
2000年から2018年の2月のチョコレートの支出金額（全国）は、緩やかな増加傾向がみられます。2018年2月は1383円で、2000年2月の888円と比べて55.7%増加しています。（図1）

次に、京都市における2017年のチョコレートの支出金額を月別にみると、2月の1410円が最も高く、2017年の1か月平均である543円の約2.6倍となっています。また、夏場は支出が落ち込み、冬に近づくと高くなる傾向がみられます。（図2）

また、2018年2月のチョコレートの支出金額（全国）を日別にみると、14日に近づいてくると支出金額が増加し、14日に最大値を迎えたのち、15日に急減する特徴的なグラフを描きます。（図3）

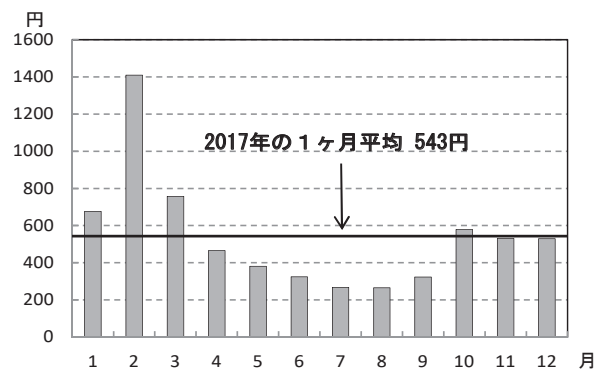
皆さんは今年、想いを寄せる相手にチョコレートを贈られましたか？今年を渡せなかった方も来年はぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

図1 2月のチョコレートの年別支出金額（2000年～2018年・全国）



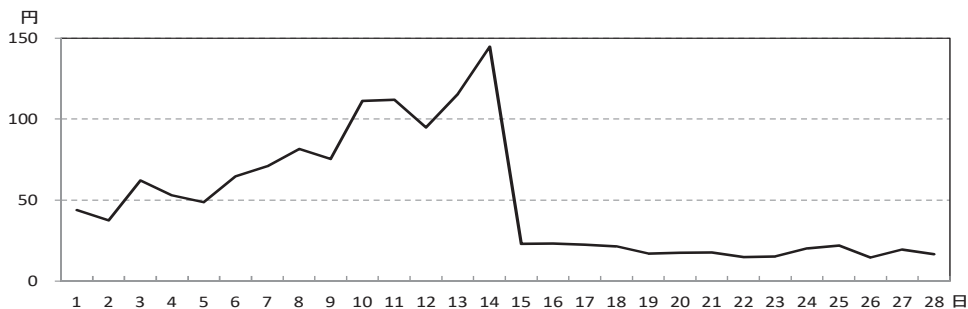
出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

図2 チョコレートの月別支出金額（2017年・京都市）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

図3 2月のチョコレートの日別支出金額（2018年・全国）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）